

【特集】

対馬ぐらしで見つめる未来

〈移住・定住×女子会〉

とある夜。

違う歩みを経て対馬で暮らしている3人の女性が蔵を改装したカフェに集合。対馬のことや対馬での暮らしのことなど、女子トークに花を咲かせてもらいました。

そこから導き出された対馬とは？
対馬ぐらしの秘訣とは？



山下 早紀さん

美津島町出身（Uターン）
1年前に東京から対馬へ戻り、対馬観光物産協会に勤務。趣味はアウトドアということもあり、対馬の自然の魅力を広く発信している。



澁江 亜由子さん

福岡市出身（Iターン）
夫が家業の小売店を継ぐことを機に対馬へ。現在は、家業の手伝いのほか、病院の事務職として勤務。中学生から2歳まで、4人の子どもを育てるお母さんという一面も。



糸瀬 萌菜花さん

上県町出身（対馬在住）
生まれも育ちも対馬。上対馬高校在学中は、陸上でインターハイ出場を果たす。
現在は、対馬市消防本部で消防士として活躍中。



3人：まずはよろしくお願ひします。 カンパイ!

Q：対馬で暮らすきっかけは？

都会のど真ん中で自然が恋しくなっ

- ◆司会：山下さんは都会暮らしを経験してのUターンなんですか？
- ◆山下：はい。私は対馬で生まれたんですが、親の仕事で長崎などを転々として、小学生から中学生まで対馬で過ごしました。そのあと高校、大学と対馬を離れて、東京で働いたりしていましたが、都会のど真ん中で生活していると、どうしても自然が恋しくなっ。毎週のように群馬や山梨、そして長野に行っっては山に登っていました。
- そんな時、ふと「自然が恋しいなら、対馬に住めばいいじゃん!」と思っ、昨年、対馬に帰っってきました。対馬にいる時はおじいちゃんが漁師だったので、毎日刺身が出る生活は好きじゃなかったんです。でも、都会にでて刺身が高級品ということを知っからは大好きになりました(笑)
- ◆澁江：対馬の魚の美味しさはヤバいですもんね。

対馬は、知れば知るほど奥が深い場所

- ◆司会：澁江さんは福岡出身で、いわゆる1ターン者ですか？
- ◆澁江：そうですね。福岡市の姪浜で生まれ育ちました。対馬出身の夫と結婚してからも福岡で暮らしていたんですが、対馬で義父母がやっている小売店を夫が継ぐことになっ、対馬にやっってきました。
- 来たばかりの頃いろいろな場所へ出かけたんですが、本当に何も無いなあって(笑)

でも、由緒ある場所や自然、地域の祭りがたくさん残っっていたり、福岡では食べなかった魚が大好きになったりと、対馬は、知れば知るほど奥が深い場所ですね。

- ◆司会：福岡での暮らしとの違いで印象に残ったことはありますか？
- ◆澁江：子どもが学校で履くシューズの記名が、苗字ではなく名前だったのは衝撃的でした。また子どもたちが「〇〇兄」「〇〇姉」と呼んでいるのを見て、びっくり!福岡では「さん付け」が当たり前だったので…。
- ◆山下・糸瀬：対馬じゃ「〇〇兄」「〇〇姉」が普通ですよ(笑)
- ◆澁江：それだけ人と人との距離が近いんですね。

都会で暮らす自分が想像できなくて

- ◆司会：糸瀬さんは、高校時代インターハイに出られたりして、島外で暮らすチャンスもあったんじゃないですか？
- ◆糸瀬：そうなんですけど…。私は上県の佐須奈で生まれ育ちました。高校生の時、陸上のやり投げでインターハイに出場したり、都会に遠征に行ったりしたんですが、すぐ対馬に帰りたくなっしまいました。対馬以外で生活するイメージが全然わかなくて…。高校卒業後、対馬では2人目の女性消防士になっ、今は厳原で暮らしています。
- 今、この瞬間にサイレンが鳴ったら出勤しなきゃいけないんで、その時はスママセン。
- ◆澁江・山下：大変な仕事ですよ。
- ◆糸瀬：そうですね。でも「対馬で消防士になる」という夢を叶えて、生まれ育った対馬のために働けることはやりがいですね。
- ◆澁江・山下：すごーい!!その責任感で私たちは安心して暮らせませうね!

Q：対馬の魅力って？

人のつながりに助けられて

- ◆司会：対馬に住んで良かったと感じられるのはどんな時ですか？
- ◆澁江：今でも福岡の友達からは「福岡に帰ってこんと？」って（笑）実際、子どもの転校などこれまでの生活を変えるハードルはとても高かったけど、対馬にいる義父母を通して、対馬に住んでも大丈夫だろうなという安心感のほうが強かったので決断しました。
対馬に来てからは、夫が入った商工会青年部の人たちに家のリフォームを手伝ってもらったりと、福岡では無かった人のつながりにすごく助けられています。
子どもたちも、福岡では900人くらいが通うマンモス校に通っていたんですが、一人ひとりと関係が持てる今の学校が良いと言ってくれていますし、人との関わりが対馬のとても良いところではないでしょうか。



「人が良かった」の声

- ◆司会：「人」という言葉が出ましたが、山下さんもそう感じますか？
- ◆山下：確かに！観光物産協会で観光客の皆さんの案内をすることが多いんですが、対馬の印象や感想を伺うと「人が良かった」と言っていたことがすごく多いんです！案内する側からすると、景色とか食べ物とかじゃないの？って思ってしまうけれど「対馬の人が良かった」って言ってもらえることは、出会いにすごくインパクトがあったんだろうなと思うのと同時に、とても嬉しいですね。



- ◆糸瀬：対馬に生まれ育った者として、サイコーの言葉ですね！

受け継ぎたい「対馬の人の良さ」

- ◆司会：糸瀬さんはどう感じてますか？
- ◆糸瀬：私も対馬の人の良さというか、優しさが好きです。特に子どもたちが挨拶してくれるのも対馬らしさだと思いますね。
- ◆山下：子どもたちの挨拶は観光客の方も言われますね。
- ◆澁江：店の前を通る子どもたちが挨拶してくれるんですけど、声を掛けられた方はすごく嬉しくなりますね！福岡では考えられませんでした。
- ◆糸瀬：横断歩道を渡った後に、ドライバーに会釈してくれたり、挨拶してくれるのって、なんかいいですよね。対馬の人の良さって、子どもたちにも受け継がれているんだな。

目的を持つと楽しめる場所

- ◆司会：山下さん、観光物産協会勤務で感じる対馬の楽しみ方ってありますか？
- ◆山下：そうですね。島外に出て対馬のPRをするとき、対馬に対してリゾートのようなすごくいい島というイメージの方が多く感じます。でも対馬は誰もが楽しめる島というよりは「歴史」や「自然」そして「対馬特有の文化」といった何か目的を持ってこられる方が十分に満足いただける島だと思うんです。
なので私としては、目的なく来島された方も楽しませられるような提案を1つでもできるようにになりたいなと思っています。

あるもの暮らしを楽しもう！

- ◆司会：糸瀬さんは対馬ぐらしをどう楽しんでますか？
- ◆糸瀬：私のモットーは「楽しく生きる」なので!!
- ◆澁江・山下：そう見える!!
- ◆糸瀬：対馬を離れると街から夕陽が観れたらいいなとか、温泉街があるといいなって思う時があるんですが、それでも私は対馬がいいです。海や山が身近にあるからそこで楽しんだり、たくさんある対馬のイベントを楽しんだり、あるもので暮らせばいいじゃないかって！
- ◆澁江・山下：なるほど～。
- ◆糸瀬：私の消防の仕事は24時間勤務なので大変なところもあるけれど、たまった仕事を片付けた後の爽快感とかを楽しんでいます。



楽しまないともったいない！

- ◆司会：渋江さんはどうですか？
- ◆澁江：福岡の人って壱岐までは行くんですよ。私も対馬に来る前に壱岐に行ったことがあって。対馬には壱岐と変わらないくらい、いやそれ以上に食とか自然とかいろいろな魅力があるのに、なんで壱岐だけクローズアップされるのか！
- ◆山下・糸瀬：そうそう！
- ◆澁江：まだまだ知らない対馬がたくさんあるけど、きっと素晴らしいものにあふれている島だと思います。買い物とか大変なところはあるけれど、楽しまないともったいない！と思わせてくれるのが対馬だと思います。
- ◆山下・糸瀬：そうそう！そうそう！
- ◆澁江：天気予報とかで「壱岐対馬」って一緒に言われると「壱岐とは違うし！」って思っちゃっ。
- ◆山下・糸瀬：渋江さん、すっかり対馬に溶け込んでますね！

Q：これからどんな対馬にしたい？ どうなりたい？

- ◆司会：楽しい時間もあったという間に過ぎちゃいました。最後にこれからの皆さんの目標やどんな対馬でありたいか聞いてもいいですか？
- ◆澁江：私はまだ対馬歴が浅いので、どんな対馬にしたいってというより身近な目標でもいいですか？夫の実家が小売店をやっているんですが、お義

父さんは注文があれば遠くの地区でも牛乳1本から配達するんです。Amazonみたいでしょ！

- ◆山下・糸瀬：ほんとですね。
- ◆澁江：そんな人と人との関係を大切に営業しているお義父さんや夫と一緒に、地域の元気発信拠点になって対馬から世界に飛び出すくらいの勢いのあるお店にしたいです！
- ◆山下・糸瀬：夢は大きく！ですね。
- ◆糸瀬：私は、子どものころから大好きな、素敵な人たちが美しい自然がずっと残っていて、島を出て行ったみんなが帰ってこれる対馬、ずっと変わらない対馬にしたいです！
- ◆山下：そうだよ。帰ってこれる島にしたいよね。私自身は、対馬が持っている自然や人の良いところを、今残してくれている人たちから引き継いで、次の世代に残していけるようになりたいです！



- ◆澁江：おお！なんか、うまくまとまりましたね！
- ◆糸瀬：さすが！
- ◆澁江：そうそう、連絡先教えてもらってもいいですか？
- ◆山下：ぜひぜひ！
- ◆糸瀬：これを機会に、これからも時間を見つけて会いましょうね！

3人とも明るく前向きな姿が印象的で、対馬の不便なところを乗り越えようとするのではなく、それすらも楽しんでしまえ！という力強い考えをもって正直、驚きましたが、そう思わせるものがこの対馬にはあるのだと強く感じました。

そんな3人を引きつける対馬には、大自然やおいしい食べ物、ロマンある歴史、温かい人と人とのつながりなど、当たり前前の暮らしの中に「宝」がたくさんあります。その宝に気づき、あなたが見つめる未来に「対馬ぐらし」を描くなら、対馬市はあなたに合った生き方、働き方を全力でサポートします。

問い合わせ しまぐらし応援室
☎0920(53)6111



広報写真で振り返る

2019年



1月

- 対馬市成人式に274人（男138人、女136人）が出席 ①
- 地域住民の生命と財産を守る 約500人の消防団員が参加した平成31年対馬市消防出初式 ②
- ユネスコ記憶遺産登録記念車 朝鮮通信使ラッピングバス「出発進行」 ③

2月

- アンゴルモア元寇合戦記で対馬の魅力を発信 訪れてみたい日本のアニメ聖地88（2019年版）に認定 ④
- 糸瀬雅玖翔くん（仁田中出身・福岡第一高校ヨット部）が、第36回全日本FJ級ヨット選手権大会で優勝 世界大会出場！ ⑤

3月

- 初の対馬市教育委員会表彰に渡辺久美子さん（健全育成功労）・永留堯吉さん（文化功労）
- 見守りが必要な方が安心して生活ができるように市内26の協力事業者と対馬市見守りネットワーク協定を締結

4月

- 入学おめでとう！南小で1人だけの入学式 ⑥
- 第43回全国真珠品評会で、日高真珠株式会社（豊玉町）が、第16回全国花珠真珠品評会で小田真珠有限会社（美津島町）がそれぞれ最高賞の農林水産大臣賞を受賞 ⑦
- 対馬高校普通科国際文化交流コースの藤山恵緑さんが第63回韓国語能力試験（TOPIK）の最上級資格6級に合格 ⑧

5月

- 令和の時代がスタート！新天皇御即位に際し、市役所各庁舎に設置した記帳所で502人が祝意

6月

- もやいの会佐須奈が第34回長崎県地域文化章を受章 ⑨
- 岡山県総社市と災害時相互応援協定を締結

取材では、皆様のご協力をいただきありがとうございました。



- 7月
 - 権利擁護センターつしまオープン ⑩
 - 「警戒レベル5」の大雨特別警報が初めて対馬で発表 ⑪
- 8月
 - 自立走行バス「ARMA」を使用した自動運転実証実験。乗客を乗せての公道走行は日本初 ⑫
 - 離島球児の夢舞台「第12回全国離島交流中学生野球大会」（通称：離島甲子園）開催 ⑬
- 9月
 - ありがとう浅海中学校 来年3月の閉校に伴い最後の運動会 ⑭
 - 介護予防自主グループ全島交流会をシャインドームみねで開催。143人の市民が参加 ⑮
 - 扇利仁くん（リト 厳原中3年）が、第14回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会（中学生の部）に長崎県代表の中堅として出場し優勝 ⑯
- 10月
 - 対馬初となる運転卒業式が対馬北警察署で開催 ⑰
 - 全国のサイクリストが集結「国境サイクリングIN対馬」開催 ⑱
- 11月
 - 丸徳水産を営む犬束徳弘さん、ゆかりさんご夫婦が第7回Fish-1グランプリのファストフィッシュ商品コンテストで県内初となるグランプリを受賞
 - 対馬野生生物保護センターの4代目公開ツシマヤマネコの名前が「かなた」に決定
 - 「赤米サミット2019in対馬・豆酸」開催。岡山県総社市、鹿児島県南種子町、対馬市がそれぞれ赤米行事の保存に向けた活動を報告

2020年もよろしくお願ひします。